

2016年7月～8月のJ-stageアクセスランキング上位20位の論文情報

(対象論文：44巻1号～51巻2号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料が対象)
 (同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。巡回ロボットによるアクセスは除外しています。)

順位	アクセス数	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	63	総説	気象/大気質モデルの開発とその応用に関する研究	近藤 明	51	77
2	34	総説	植物に対するオゾン、酸性降下物およびエアロゾルの影響に関する研究	伊豆田 猛	51	85
3	33	原著論文	2000～2013年の日本における大気中ベンゾ[a]ピレン濃度の経年変動	猪股 弥生	51	111
4	28	総説	物質輸送とデータ同化～化学輸送モデルと観測の融合～	弓本 桂也	51	97
4	28	原著論文	3次元大気シミュレーションによる2005年度日本三大都市圏PM2.5濃度に対する国内発生源・越境輸送の感度解析	茶谷 聡	46	101
6	27	原著論文	スギから放出される揮発性有機化合物のOH反応性測定および化学分析	井田 明	51	132
7	25	原著論文	希土類元素（レアアース）に着目した中国大都市と首都圏のPM2.5の元素成分と発生源の特徴	米持 真一	51	33
7	25	原著論文	稼働状況の時間変動を反映した火力発電による排出量の時間配分	富山 一	51	124
9	24	原著論文	九州北部で2014年5月下旬から1週間継続した黄砂と高濃度大気汚染現象のオーバービュー	鵜野 伊津志	51	44
10	23	解説	オリンピック開催に伴う中国北京市の大気環境の変化	奥田 知明	51	31
11	22	技術調査報告	梅雨前線による大雨時に北陸地方で観測された光化学オキシダント高濃度事例：成層圏オゾンの乾燥貫入に関する考察	鎌田 茜	51	144
11	22	総説	大気汚染の健康影響に関する疫学研究—自動車排出ガスと微小粒子状物質(PM2.5)を中心に—	島 正之	50	67
11	22	技術調査報告	大気汚染物質排出インベントリ—EAGrid2000-Japanの年次更新	福井 哲央	49	117
11	22	総説	PM2.5の実態解明に向けて	伏見 暁洋	46	84
15	21	技術調査報告	関東地方の夏季高濃度Oxの長期的濃度変動要因の検討と前駆物質濃度削減効果の予測評価	上野 広行	50	257
15	21	原著論文	東京都における大気中揮発性有機化合物の組成とOHラジカルとの反応による消失を考慮したCMB解析	上野 広行	50	207
15	21	総説	地域スケールの化学輸送モデリング	森野 悠	50	131
15	21	原著論文	大気汚染予測システム（VENUS）の構築と検証	菅田 誠治	46	49
19	20	資料	中国における大気汚染の健康影響に関する共同研究	島 正之	51	25
19	20	原著論文	単純地形上の冷却塔排気拡散に関する風洞実験—排気上昇と模型表面粗度の影響—	瀧本 浩史	50	226
19	20	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5、PM1の特徴	米持 真一	48	140